

燕市 GIGA スクール通信

Good Idea ! ICT 活用③

小学6年 学級活動 SOS の出し方に関する授業
 オクリンクの LIVE モニタリング機能を活用して個々の学習状況を把握



「A さんの良かったところは？」
 先生は、場面の提示後、こう子どもたちに問い、A さんの行動の良い点について個人で思考させました。その際、子どもたちにはオクリンクを活用させました。

それぞれにカードに入力する子どもたち。
 その間、先生は教師用の Chromebook を見ながら個々のカードの状況を把握し、机間指導をしていました。

(9/22 粟生津小学校)

考えをノートなど紙に記録させていると、教師は子どもたち一人一人に近付いて、学習状況の把握をすることになります。オクリンクのカードに考えを記録させ、LIVE モニタリング機能を活用することで、個々の学習状況の見取りがリアルタイムで簡単にできるようになります。

個々の学習状況を見取ることは、日々の授業で行われていることであり、授業を組織する上で大切な教師の営みです。その営みに ICT を活用している、素晴らしい取組です。

★ミライシードの有効な活用法についてはこちらをチェック↓

<ミライシードファンサイト>

<https://miraiseedfansite.benesse.ne.jp/usecase/index.html>

MEXCBT(メクビット)の活用で学力向上

MEXCBT (メクビット) とは、文部科学省が開発した CBT (Computer Based Testing) システムです。令和3年から活用をスタートし、令和5年6月現在、約2.5 万校が登録しています。燕市内の各校も登録し、学習 e ポータル「まなびポケット」から入ることができるようになっています。

MEXCBT には、全国学力・学習状況調査の過去問題や各自治体の問題など、多様な問題があり、活用することで子どもたちの学力向上が期待できます。今後、全国学力・学習状況調査が順次オンライン化される方向であり、CBT システムに子どもたちが慣れる必要もあります。

MEXCBT の詳細については、文部科学省ホームページに掲載されています。活用事例の紹介もあり、大変参考になります。ぜひご覧いただき、各校で積極的に活用ください。

<文部科学省 CBT システム (MEXCBT : メクビット) について>

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html